

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サクラサクいしえ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025/1/27（月）		2025/2/14（金）
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	12名	（回答者数） 11名
○従業者評価実施期間	2025/1/27（月）		2025/2/14（金）
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数） 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/28（金）		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p><b>・保育士と看護師による多職種の連携</b> 保育士による子どもの発達や心理に関する知識と、看護師の医療的な知識を合わせて包括的な療育とケアが提供できる。また、体調面や育児に関する情報提供もできる。</p>	<p><b>・多職種によるカンファレンス</b> 医療的な見解や、障がい特性や発達段階等を情報共有し、参加者全員の意識変容と人間関係の向上に努めている。</p>	<p><b>・チーム間のフィードバック</b> 多職種だからこそ気付ける多方面の視点から、都度フィードバックし、活発な意見交換をしながら改善策を出す。</p>
2	<p><b>・多様な子どもとのかかわり</b> 障がいがある子どもや、医療的ケアが必要な子どもと一緒に過ごし、それぞれの個性を認め合うインクルーシブな環境。</p>	<p><b>・一緒に過ごす機会を設定</b> 朝の会や余暇の時間等、環境設定に留意しながら、一緒に過ごす時間をつくり、お互いを意識し尊重する機会をつくっている。</p>	<p><b>・長期休み時の集団活動の開催</b> それぞれ個性を活かせるような集団での活動を提供し参加してもらいながら、お互いを刺激し合い、コミュニケーションを楽しめる機会をつくる。</p>
3	<p><b>・緊急時の対応能力</b> 緊急時に迅速で適切な対応ができる為、保護者様や保育士も安心してかかわり、見守ることができる。</p>	<p><b>・バイタル測定やその日の体調管理</b> 看護師が子どもの状態を常にチェックし、発達の遅れや、健康上の問題を早期に発見し、適切な対応をしている。</p>	<p><b>・各関係機関とのつながり強化</b> 各関係機関と連携し、都度情報共有しながら、協力体制をつくっていく。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>・地域の方々と交流する機会がない。</p>	<p>・児童発達支援と放課後等デイサービスのスケジュールが違う為、タイミングが合わせにくい。</p>	<p>・児童発達支援と放課後等デイサービスのスケジュールを見直し、交流する機会や内容を組み立ててみる。</p>
2	<p>・ホームページやSNSを活発に利用できていない。</p>	<p>・ICTの活用に対するメリット、デメリットの知識不足。</p>	<p>・ICTを活用する為のスキルアップ。</p>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 サクラサくいしえ (放課後等デイサービス)

公表日 令和7年3月27日

利用児

童数 2025/2/20 12名

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8		3			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8		2	1	・看護師が多く安心	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9		1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	3	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		2			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	5	1		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		4	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2	・実際に通報訓練をするなど、現実味がある
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			2	・まだ、そういうことがないので分からない。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				・大好きだと思う。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				・いつも行きたいと言う。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・体調が安定するよう、いつもご配慮やアドバイスを頂き、有難い。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サクラサくいしえ（放課後等デイサービス）				公表日	令和7年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・部屋の広さの基準は満たしているが、その日の利用児数に応じて、使用する部屋や室内の動線、機器の配置を都度調整している。	・今後も児童の活動範囲を考慮して、安心安全を基本とした、適切なスペースを確保・維持できるように努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・職員の配置基準は満たしているが、曜日によって人員不足を感じる時間もある為、職員間で話し合い都度流動的に調整している。	・今後も児童の活動範囲を考慮して、安心安全を基本とした適切な職員配置を確保・維持できるように努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・定期的に職員会議や担当者会議、カンファレンスを開催し、改善点を話し合っている。	・定期的に全職員が目標を検討する機会を設定し、フィードバックしながら改善点を見つけ業務改善に邁進します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・定期的に職員会議や担当者会議、カンファレンスを開催し、改善点を話し合っている。	・定期的に全職員が意見を交わす機会を設定し、支援の統一を基本にした、業務改善に邁進します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		・今後、第三者による評価をして頂き、業務改善につなげられるよう検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・モニタリングや関係機関による情報共有、日々の支援内容の記録を基に行動分析し、適応行動を促している。	・フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントのメリットとデメリットを把握し、それぞれの適応行動に導きます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	・必ずという点で不十分な時がある。	・児童の利用状況、職員の就業時間によって、確認が不十分になる日があるので、振度確認を出来る工夫をし、職員間で情報共有していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	・必ずという点で不十分な時がある。	・児童の利用状況、職員の就業時間によって、振り返りが不十分になる日があるので、振り返りを出来る工夫をし、職員間で情報共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	・都度、言葉やジェスチャー、手話やハンドサイン等を用い、本人なりの意思表出を促し、意思確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・都度、必要時に主治医や相談員、保育園や幼稚園や学校等の関係機関と担当者会議を開催し、多職種で支援の方向性を協議している。	・支援の方向性を明確にし、職員間で情報共有し統一された支援を提供します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	・現在まで数名の実績あり。 都度、情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	・今年度1名の実績あり。 都度、情報共有と相互理解に努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4		・今後、検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・日常的に医療的ケアを必要としている児童が多い為、活動する機会をつくるのが難しい。	・今後、検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5		・今後、検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	・保護者からきょうだい児や子育て等について、相談があった際は、都度話し合い、アドバイスをしている。	・来年度、ペアレントプログラムを計画中。 保護者からの困り事や相談があった際は、各連携機関や職員間で検討し、家族支援に努めています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6	・父母の会の活動や保護者会等はないが、ニーズがあった際は、活動を支援できるよう努めます。	※未回答1 ・今後、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・都度、定期的、季節的、行事的なおたよりは発行している。	・HPやSNSの活発な活用は行っていない為、今後検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8	・買い物支援や訪問ミュージカル等、地域と関連する行事はあったが、地域住民を招待するまでに至らない。	・受け入れをしている児童に医ケア児・重心児が多い為、地域住民を招待することは難しいが、今後機会があれば検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・利用時のアセスメントで食物アレルギーの有無を確認している。	・食物アレルギーに関して、医師の指示書が必要な際は、都度対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	・安全計画は作成しているが、安全管理に必要な訓練はなかった。	・今後、安全管理に必要な訓練等を検討していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				